



コリアハウスにて韓国伝統舞踊を鑑賞記念に

女性起業家達のパワーに感動

杉本 ナツ

メインでもあった、韓国の女性起業家10名との懇談会の中で、今迄の女性下積み社会をはねのけ、他力を頼らず自分達の力で道を切り開いて行く意欲と行動あるパワーに感動。

北朝鮮との境にある、統一展望台から遙か向こうに北朝鮮を見ることが出来、あそこに拉致された人々があられるかと思うと、胸のつまる思いがしました。

食事は必ずキムチが出るもの、辛さもしつこくなく、さすが本場と舌鼓。

ガイドさんの行届いた説明に歴史や文化など、僅かながらも韓国の姿を肌で感じることが出来意義ある研修でした。

キムチ国心はアリの鍋料理



コリアハウスにて夕食 王宮料理にて乾杯

彼地の女性起業家の活力源は？ 武田 公子

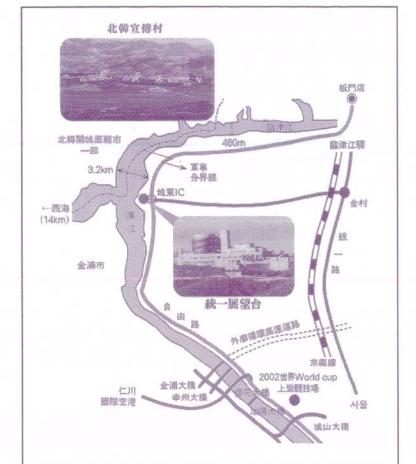
この度の韓国研修旅行に際し、韓国女性経済人協会の皆様と親しく話し合う機会に恵まれました。

堂々と生き生きと自國の発展に寄与している事を誇りとしているのが伝わって参りました。

愛国心と高麗人參エキスとの絶妙な組合せが心に残りました。

五行歌で思いを書きました 大橋 嬉子

この望遠鏡の向こうに
閉ざされし
分断された人々が
みえる
韓国、統一展望台



あじわった満足感

厳しいといわれている寒さ対策や、雑多な先入観（北朝鮮への思いや食文化など）で不安な韓国研修への出発だったが、仁川空港に降り立ち韓国に入国したとき、まず郷愁にも似た不思議な気持ちを味わった。

雨の降る車窓から見る都という意味の街ソウルは、噂どおりビル、マンション、車の洪水。

ガイド金惠慶さんの案内では、韓国全人口の四分の一約4700万人がソウルに居住しているとか。想像をはるかに超えた驚くべきソウルの街だった。

出会った女性には、「どうして!!」と叫びそうなほどの明るさやパワーがみなぎっており、驚愕と羨望が入り混じったショック。彼女たち曰く、仕事、ファッション、エステ、食べ物はもちろん、話すことや笑うこと、どれもエネルギー源であり、いつでもどこでもプラス指向だとか。

特に食文化では、習慣作法など違いはあるが、韓国料理は肉中心ではなく、豊富な野菜中心だったことを知った。とうがらし、にんにく、キムチなども本当においしくいただけた。

今までなんとなく難しいと敬遠していたハングル語は、実は私達日本語と同一系統の言葉といわれ、語順や助詞の使い方もよく似ているそうだ。

統一展望台から北朝鮮を眺め、日常生活用品、学校教科書などの展示を見ながら、現地の生活環境を聞くにつけ、拉致された人達や苦しい生活を余儀なく強いられている人々のことが頭に浮かび、胸が痛んだ。

出発時の不安も吹っ飛び、とにかく百聞は一見にしかずの言葉そのままの韓国研修だった。



戦争記念館

